

日本の行事

1) お正月

日本一番大きな行事はお正月です。ほとんどの会社は一月一日から三日まで休みになります。一月一日は元旦と言って、この日にはお世話になった人や友だちや会社の人などに年賀状を送ります。最近はお正月の休みに外国に旅行する家族も多くなりましたが、伝統的には子どもを連れていなかに帰省します。親類が集まって、いっしょに食べたり飲んだりします。子どもはお年玉をもらって、好きなおもちゃやゲームを買いに行きます。

年末も日本人には大変忙しい時期です。十二月は忘年会のシーズンで、街は夜遅くまでにぎやかです。食べすぎたり、飲みすぎたりして胃腸の調子がおかしくなる人もたくさんいます。

2) ゴールデンウィーク

日本では四月二十九日から五月五日まで祭日が続きます。この時期をゴールデンウィークとよんでいます。このころは暖かくて緑がきれいな季節なので、たくさんの家族やカップルがテーマパークや観光地に出かけます。だから、高速道路も時々 20キロ、30キロの渋滞になります。ホテルも飛行機も新幹線も、半年から一年ぐらい前に予約しなければいけません。もちろん、海外旅行を楽しむ人も大勢います。しかし、アンケートでは、混雑した所にいくより、自分の家でゆっくり休みたいと答える日本人のほうが多いです。

3) 花見

日本人には桜はいちばん大切な花でしょう。昔の人たちは和歌や俳句に桜の美しさや儂さを書きました。現代の音楽やテレビドラマでも桜はよく使われています。さくらには色々な種類がありますが、一番有名なのはソメイヨシノでしょう。

ソメイヨシノは百五十年前に日本からワシントンに贈られたので、三月にはポートマック川の周辺でも美しい桜を見ることがあります。

日本は北から南まで長い国なので、桜が咲く時期は、沖縄では一月中旬で、北海道では五月です。東京では四月の上旬で、入学式には、きれいに咲いた桜の下で写真を撮ります。

桜はだいたい二週間ぐらいで終わるので、その間に日本人は花見を楽しめます。桜の下でお弁当を食べたり、ピクニックをしたり、時々、ライトアップして、夜の桜の下でみんなでパーティをしたりします。

使われている	is being used (passive)
贈られた	was given to (passive)
見ることができます	can be seen (potential)

4) 梅雨

春と夏の間に、日本には梅雨があります。北海道では梅雨はありません。梅雨は本州ではだいたい六月から七月の上旬です。梅雨の後、日本は気温が高くなり、夏になります。日本の夏はとても蒸し暑いですが、節電のために部屋やオフィスの気温を27度ぐらいにしています。

夏には色々な所でお祭りや花火大会があります。七月の京都の祇園祭や大阪の天神祭、仙台の七夕祭り、そして、東京の隅田川の花火などは有名です。

27度ぐらいにしている keep it at 27 Celsius degree

日本ぎょうじの行事

一月	おしょうがつ、ねんがじょう、おとしだま、はつもうで お正月、年賀状、お年玉、初詣
二月	にゆうし 入試
三月	そつきょうしき 卒業式
四月	にゆうがくしき、にゅうしゃしき、はなみ 入学式、入社式、花見
五月	ごーるデンウェーク ゴールデンウィーク
六月	つゆ 梅雨
七月	なつ 夏休み、ボーナス
八月	おぼん、きせい お盆、帰省
九月	たいふう 台風
十月、十一月	けっこんしき 結婚式のシーズン
十二月	ほうねんかい おおみそか 忘年会、クリスマス、大そうじ、大晦日